

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会  
第11回（2019年度）総会

日 時：2019年5月25日（土）  
場 所：高知県立坂本龍馬記念館  
新館ホール

議 事 次 第

1. 開 会
  2. 会 長 挨拶
  3. 審議事項
    - <第1号議案> (1) 2018年度事業報告
    - (2) 2018年度決算報告
    - (3) 2018年度監査報告
  
    - <第2号議案> (1) 2019年度事業計画（案）
    - (2) 2019年度予算（案）
  
    - <第3号議案> 役員選出（案）
  4. 閉会
- 

**\* 卷末資料 \***

○総括

会長 宮 英司

○規約（2019年5月25日現在）

○会員名簿（2019年5月25日現在）

# 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

## 2018年度事業報告

1. 4月1日 『飛騰 第105号』中刷会報 発行  
私のテーマ 「妖刀『村正』は官軍刀」小島 博明（以下学会員は敬称略）  
龍馬のひろば 「この会の将来のあるべき姿について」「教科書から坂本龍馬が消えてしまうかもしれないことについて」「私が坂本龍馬に惚れ込んだ理由」  
「現在研究を進めている事柄の紹介」（その1）  
こぼれ話 犬歩棒当記(33)「龍馬は大人になってから」宮川 禎一  
コラム・龍馬のこと 「勝海舟と坂本龍馬」政井 寛保
2. 5月26日（土）  
第10回 現代龍馬学会 総会・研究発表会 於：坂本龍馬記念館新館ホール  
テーマ「明治維新150年 ～龍馬が目指した新国家～」  
【特別講演】  
福井市立郷土歴史博物館 館長 角鹿 尚計 氏  
「福井藩と坂本龍馬—特に『越行の記』・『新国家』書簡を中心に—」  
【研究発表】  
網谷 喜行 「二つの『明治維新』と吉田東洋の藩政改革」  
岩崎 義郎 「西郷隆盛、二度の土佐来国」  
中村 茂生 「『海援隊』はどう描かれたか—戦前期の舞台と映画から」  
高山 嘉明 「幕末期京都における土佐藩の活動」
3. 7月1日 『飛騰 第106号』中刷会報 発行  
私のテーマ 「浦戸の歴史 悲劇の武將 東條関之兵衛実光」吉松 由宇子  
特集 第10回現代龍馬学会総会・研究発表会 テマ「大政奉還150年・龍馬没後150年」  
こぼれ話 犬歩棒当記(34)「矢印の研究（補遺）」宮川 禎一  
龍馬のひろば 「この会の将来のあるべき姿について」「教科書から坂本龍馬が消えてしまうかもしれないことについて」「私が坂本龍馬に惚れ込んだ理由」  
「現在研究を進めている事柄の紹介」（その2）
4. 8月18日（土）理事会・月例会 於：高知会館  
【理事会】第10回 総会・研究発表会 総括  
第11回総会・研究発表会について  
理事会・月例会開催について、  
「飛騰」中刷会報執筆者選定  
理事会の構成について  
【月例会】会員発表 宮 英司 ①新しい学習指導要領 ②寺田寅彦銅像物語
5. 10月1日 『飛騰 第107号』中刷会報 発行  
ごあいさつ 宮 英司  
私のテーマ 柳原にあった「龍馬彰勳碑」と「忠魂護皇基」今井 章博  
こぼれ話 犬歩棒当記(35)「日本人のお名前—幕末編—」宮川 禎一  
コラム・龍馬のこと 「愛媛県大洲市と坂本龍馬」坂本 世津夫  
第2回「龍馬のひろば」原稿募集について

6. 10月20日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館新館ホール  
【理事会】 第11回総会・研究発表会開催について  
理事会・月例会開催について、  
「飛騰」中刷会報執筆者選定  
【月例会】 会員発表 今井 章博 「龍馬十五年忌祭をめぐる元海援隊士達の動向」
  
7. 12月15日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館新館ホール  
【理事会】 第11回総会・研究発表会開催について  
理事会・月例会開催について、  
「飛騰」中刷会報執筆者選定  
【月例会】 会員発表 渋谷 雅之 「近世土佐の群像・いろは丸始末」
  
8. 1月1日 『飛騰 第108号』中刷会報 発行  
私のテーマ 「京都における土佐藩の政治活動」 高山 嘉明  
第2回龍馬のひろば 龍馬に関する図書で、あなたの愛読書は何でしょうか？  
こぼれ話 犬歩棒当記(36)「絵葉書の時代」 宮川 禎一  
コラム・龍馬のこと 「井上俊三について 驚きの出会いが…」 宮 英司  
話してみるかよ 「幕末史の主役」 渋谷 雅之
  
9. 2月16日(土) 理事会・月例会 於：坂本龍馬記念館新館ホール  
【理事会】 第11回総会・研究発表会開催について  
理事会・月例会開催について、  
「飛騰」中刷会報執筆者選定  
【月例会】 会員発表 渋谷 雅之 「近世土佐の群像・いろは丸始末 その2」

# 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会 2019年度事業計画（案）

- ① 定期総会 2019年5月25日（土）
- ② 研究発表会 2019年5月25日（土）  
会員の研究発表
- ③ 理事会・月例会  
勉強会と記念館・会員からの報告、交流  
（4月、6月、10月、12月、2月）
- ④ 「飛騰」中刷会報 発行  
年4回（4月・7月・10月・1月）の記念館だよりに差込見開き4ページ  
「私のテーマ」  
（「見開きページ」）  
「こぼれ話」「コラム・龍馬のこと」「会員便り “話してみるかよ”」
- ⑤ 論集（紀要）第10号・第11号発行

## その他

大会運営委員会、編集委員会、ホームページ委員会、例会委員会の各委員会のもと会務を執行する。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1、大会運営委員会   | 委員長 前田由紀枝 |
| 2、編集委員会     | 委員長 宮 英司  |
| 3、ホームページ委員会 | 委員長 亀尾美香  |
| 4、例会委員会     | 委員長 江上英治  |

## 総括

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、「激動の時代を生きた坂本龍馬に学び、その志を受け継いでいこう」という趣旨のもと、2009（平成21）年に発足しました。10年の歴史を刻んできましたが、毎年春に総会と研究発表会を開催し、研究発表の成果を『紀要』または『論集』にまとめて出版してきました。また、2か月ごとに例会と研究発表を行うとともに、龍馬記念館の機関誌『飛騰』の発行にあわせた会報の作成など様々な活動を続けてきました。この間、私たちの活動を支えてくださった龍馬記念館のスタッフの皆さんに心からの感謝を申しあげたいと思います。

さて、学会の活動の中心ともいえるべき春の研究発表会は、県内外の多くの龍馬ファンの参加と協力を得て、個性的な空間を紡いできました。2018年の第10回大会は、「明治維新150年～龍馬が目指した新国家～」をメインテーマにして73人が参加して熱心な発表と質疑が行われました。特別講演には、福井市立郷土歴史博物館館長の角鹿尚計さんをお招きしました。そして、「福井藩と坂本龍馬～特に『越行の記』・『新国家』書簡を中心に～」という演題で、タイムリーなお話をいただきました。さらに、NPO法人土佐観光ガイドボランティア協会顧問の岩崎義郎さんの「西郷隆盛、二度の土佐来国」をはじめ、4人による研究発表は、永年の研究をもとにした、知見に満ちたものであり、大変勉強になりました。

去年は、龍馬記念館のグランド・オープンの年でした。ふりかえれば、待ちかねていた龍馬ファンの期待に十分に答えることのできた充実ぶりだったと思います。また、新しく企画された「連続講演会」では、第一線で活躍中の龍馬研究家の方々のお話を聴く貴重な機会をいただきました。会員のみなさんも数多く参加されていたことと思います。さらに、企画展「大義と忠誠の戊辰戦争～会津・土佐・三春の幕末明治～」において、福島の見点から見た幕末と明治維新という新鮮な学びを共有する機会がありました。こうした龍馬記念館の飛躍は、現代龍馬学会としても実に頼もしいことです。今後におきましても、龍馬記念館とともに歩んでいきたいと考えています。

ところで、今の日本を龍馬の眼で眺めようとすると、国の内外に切迫した課題が山積していることに気がつきます。これから先、私たちはどのような方向に向かって歩んでいけばいいのでしょうか。龍馬の生涯と思想に学び、自由と平和の精神を引き継いでいくことがますます大切になってきたように思われます。今年は龍馬が避けようとした“「戊辰戦争」終結150年”という年でもあります。今一度、平和について考えながら龍馬の足跡を机上で辿ってみるのも有意義なことではないかと考えるものです。

会長 宮 英司